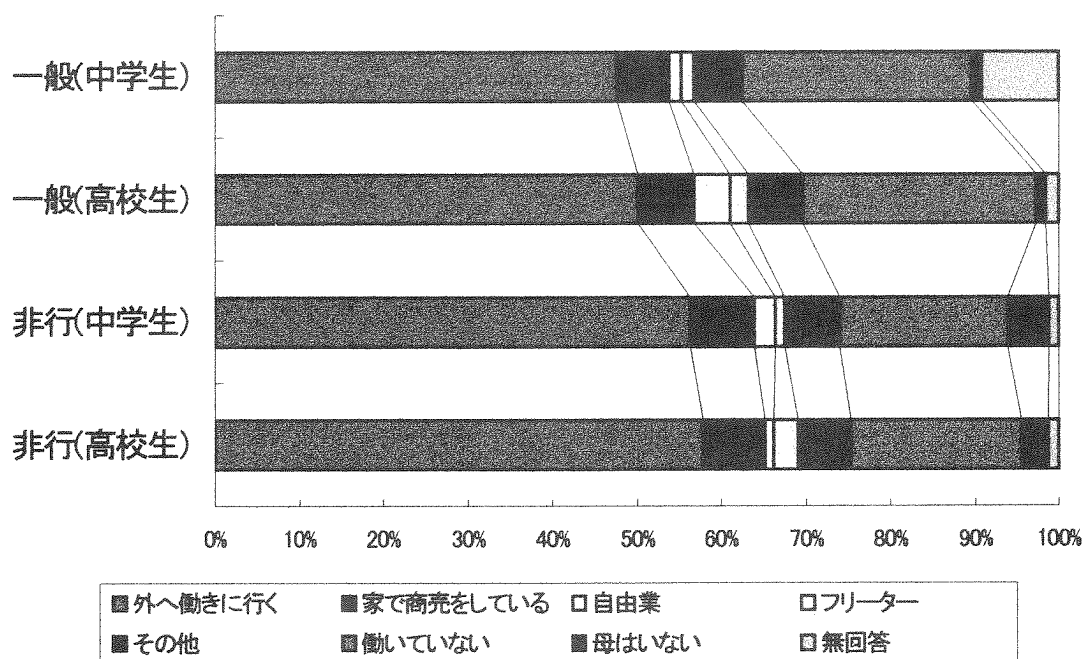


次いで、母親の就労状態について見てみよう。結果は図1-3に示すとおりである。無回答は、一般群(中学生)が一番多く9.2%で、他の群は1%台であった。母はいないと答えた者は、一般群の中学生・高校生がともに1%台であるのに対し、非行群の中学生が4.9%、高校生が3.2%いる。「働いていない」母親は、一般群の中学生・高校生が約27%であるのに対し、非行群の中学生・高校生ともに約20%であった。

図1-3 母親の就労



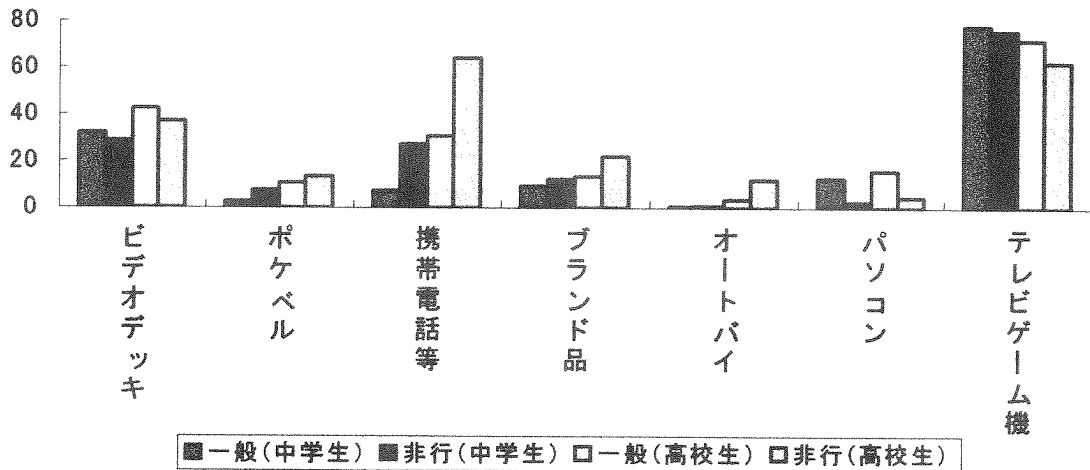
## 2 所持品

現代は「消費文化」と言われて久しい。少年も種々の品物を所持するようになったが、ここでは以下に示す品物の所有の有無を尋ねた。

- ・ 自分が自由に使えるビデオデッキ (ビデオデッキ)
- ・ ポケベル
- ・ 携帯電話・PHS (携帯電話等)
- ・ 高価なブランドのバッグや服・アクセサリー等 (ブランド品)
- ・ オートバイ
- ・ パソコン
- ・ ファミコンなどのテレビゲーム機本体 (テレビゲーム機)

結果は図1-4に示すとおりである。

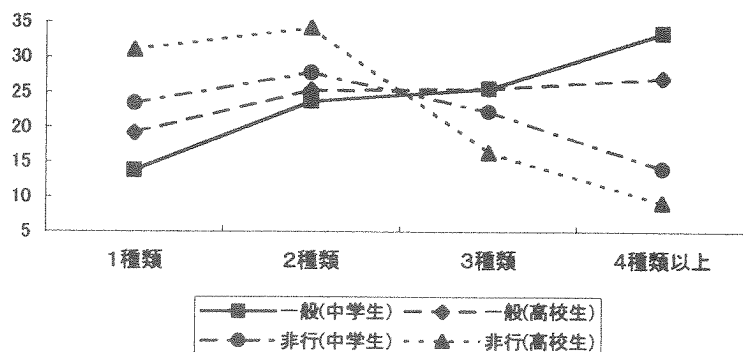
図1-4 所持品



7品目のうちテレビゲーム機を除くと中学生より高校生の方が所持率が高い。

テレビゲーム機は、一般(中学生)が77.9%で一番多く、次いで非行(中学生)、一般(高校生)、非行(高校生)の順になっている。中学生・高校生それぞれについて一般群と非行群とを比較すると、概ね2つの傾向に分けられる。1つの傾向は、ポケベルや携帯電話等・ブランド品・オートバイのように非行群の方が一般群よりその品物の所持率が高い場合である。特に携帯電話は、一般(高校生)が30.7%であるのに対して非行(高校生)は64.2%と、所持率が高くしかも2倍以上になっている。もう1つの傾向は、ビデオデッキやパソコン・テレビゲーム機のように非行群より一般群の方が所持率が高い場合である。特にパソコンは、一般の中学生が12.7%に対して非行の中学生は2.4%、一般の高校生が15.9%に対して非行の高校生は4.5%である。

図1-5 テレビゲーム機所持種類数



また、テレビゲーム機を所持していると回答した者に何種類の機種を持っているかを尋ねた結果を図1-5に示した。これを見ると、1～2種類持っていると答えた者は非行群の中・高校生の方が多いが、3種類以上になると一般群の中・高校生の方が多くなっている。

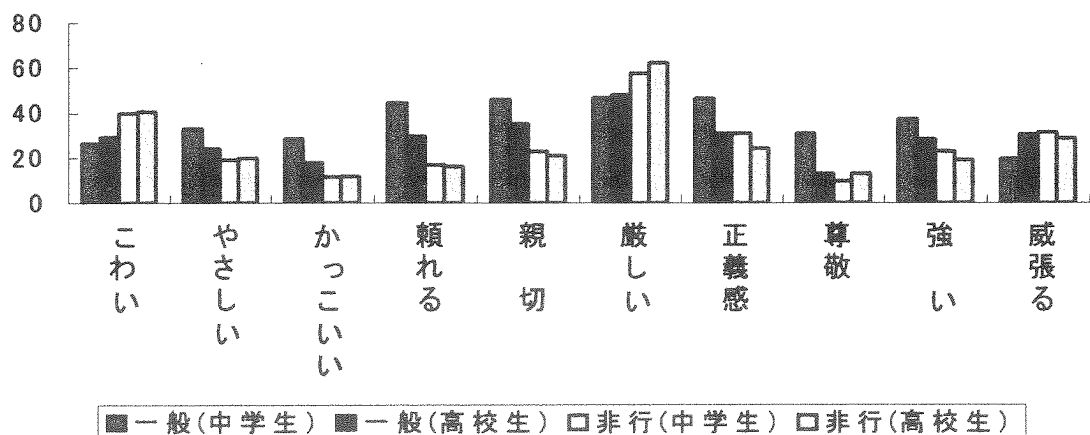
### 3 警察官のイメージ

少年が、おまわりさん(警察官)に対して以下のようなイメージを持っているか否かを尋ねた。

- 肯定的イメージ
  - ・ 優しい
  - ・ カッコいい
  - ・ 頼りになる(頼れる)
  - ・ 親切
  - ・ 正義感がある(正義感)
  - ・ 尊敬できる(尊敬)
  - ・ 強い
- 否定的イメージ
  - ・ こわい
  - ・ 悪いことをすると厳しい(厳しい)
  - ・ 威張っている(威張る)
- その他

結果は図1-6に示すとおりである。

図1-6 おまわりさん(警察官)のイメージ



全体的にみると、どの群の少年も警察官に対して一番強く抱いているイメージは、「悪いことをすると厳しい」イメージである。それぞれの群の少年のうち30%以上の者が抱いているイメージは、一般群の中学生が、「悪いことをすると厳しい」(46.7%)「正義感が強い」(46.4%)「親切」(45.7%)「頼りになる」(44.6%)「強い」(37.2%)「優しい」(33.0%)「尊敬できる」(30.8%)、一般群の高校生が、「悪いことをすると厳しい」(47.9%)「親切」(35.1%)「正義感が強い」(30.8%)「威張っている」(30.3%)、非行群の中学生が、「悪いことをすると厳しい」(57.5%)「こわい」(39.8%)「威張っている」(31.2%)「正義感が強い」(30.9%)、非行群の高校生が、「悪いことをすると厳しい」(62.0%)「こわい」(40.6%)であった。

一般群と非行群とを比べると、一般群の高校生が「威張っている」イメージを持っているものの、概ね一般群の少年は、警察官に対して肯定的なイメージを持っている。一方、非行群の少年は、「こわい」「威張っている」といった否定的なイメージを持ち、肯定的なイメージを持っている者が少ない。

#### 4 まとめ

この節は、調査対象少年がどのような特性を有しているかを示すために、家庭や所持品、警察官のイメージについて調べた。

調査対象少年を一般群と非行群に分けたとき、それぞれの平均像は以下に示すとおりである。

一般群の少年の方が非行群の少年より両親と同居している。両群の父親とも大半が仕事をしているが、外へ働きに行く父親は一般群の方が多い。一方、両群とも6割以上の母親が働いているが、非行群の母親の方が外へ働きに出ており、逆に、無職は一般群の母親の方が多く、一般群の少年の母親の方が非行群の母親より家にいる割合が高い。

テレビゲーム機は両群の少年とも6割以上の者が所持しており、ビデオデッキも約4割の者が持っている。今はやりの携帯電話やブランド品は非行群の少年の方が多く所持しており、逆に、パソコンは一般群の少年の方を持っている。

警察官に対しては、両群とも「悪いことをすると厳しい」というイメージを一番に持っている。全体的には、一般群の少年は、「正義感が強い」「親切」といったような肯定的なイメージを持っているのに対し、非行群の少年は、「威張っている」「こわい」といったような否定的なイメージを持っているといえる。